

令和六年度一般選抜問題

国

語

(配点 100点)

令和6年1月10日(水)

9時20分～10時10分

注意事項

- 一 試験開始の合図があるまでは、この問題用紙を開いてはいけません。
- 二 この問題用紙は四ページあります。落丁、乱丁、または印刷不鮮明の箇所がありましたら、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 三 この表紙および解答用紙の指定欄に受験番号を記入してください。
- 四 解答は必ず解答用紙の指定された箇所に記入してください。
- 五 問題用紙および解答用紙は、持ち帰ってはいけません。

| | |
|---|---|
| 受 | 験 |
| 番 | 号 |

栃木県立衛生福祉大学校

保健看護学部 看護学科専科

一 次の対談文を読んで後の問いに答えなさい。

この部分は、著作権の都合上公開できません。

この部分は、著作権の都合上公開できません。

(出典 井上ひさし・平田オリザ『話し言葉の日本語』 小学館刊より 出題者一部抜粋)

問一 傍線部①～⑩のカタカナを漢字で記しなさい。

問二 二重傍線部①「戯曲」とほぼ同じ意味で使われている語句が「芝居」以外にもある。
文中から抜き出して漢字で答えなさい。

問三

| |
|---|
| A |
|---|

 ・

| |
|---|
| B |
|---|

 に入る適切な語句を、それぞれ漢数字で答えなさい。

二 傍線部の漢字の読み方を書きなさい。

- | | |
|--|---|
| ① 心得 <small>こころえ</small> 違い。 | ② 得心 <small>とくしん</small> がいく。 |
| ③ 物品 <small>ぶつぶつ</small> の購入。 | ④ 品物 <small>ぶつぶつ</small> はいい。 |
| ⑤ 紙 <small>かみ</small> の裏表 <small>うらおもて</small> 。 | ⑥ 表裏 <small>うらおもて</small> 一体。 |
| ⑦ 一目 <small>ひとめ</small> おく。 | ⑧ 一目 <small>ひとめ</small> 会 <small>あ</small> いたい。 |
| ⑨ 一時 <small>ひととき</small> 預 <small>あ</small> かり。 | ⑩ 楽しい一時 <small>ひととき</small> 。 |

三 次の□に入る適切なことばを下から選び、記号で答えなさい。

- | | |
|---------------------|---------|
| ① □ 期日に間に合った。 | ア あいにく |
| ② 夏とはいえ、□ 山は涼しかった。 | イ あたかも |
| ③ □ 彼とは親しい間柄だった。 | ウ かろうじて |
| ④ 訪ねて行ったが□ 彼は留守だった。 | エ さすがに |
| ⑤ □ 春のように暖かだった。 | オ とりわけ |

四 次のことばの意味を下から選び記号で答えなさい。

- | | |
|--|-----------------|
| ① 推 <small>おし</small> 敲 <small>き</small> | ア 自分を理解してくれる親友。 |
| ② 杜 <small>ず</small> 撰 <small>せん</small> | イ 取り越し苦労。 |
| ③ 杞 <small>き</small> 憂 <small>ゆう</small> | ウ 文章を練り直すこと。 |
| ④ 登 <small>のぼ</small> 竜 <small>りゅう</small> 門 <small>もん</small> | エ 誤りが多くいいかげん。 |
| ⑤ 知 <small>ち</small> 音 <small>いん</small> | オ 立身出世のための関門。 |

五 次の「話し言葉」をそれぞれ敬体(です・ます体)の「書き言葉」に書き直しなさい。

- ① 世の中にはほんとにいろいろな人がいるな。
- ② 山本さんちへ行ったけど留守だったよ。